

第 6 回居住性能評価指針検討 WG（環境振動性能小委員会評価 WT） 議事メモ

- A. 日 時 2011 年 7 月 19 日 火曜日 16:00～18:00
- B. 場 所 建築学会会議室
- C. 出席者 松本主査、他 8 名
- D. 提出資料（提出委員名）
 - No.6-0 第 5 回居住性能評価指針検討 WG 議事メモ
 - No.6-1 「振動評価指針」の具現化に向けて
 - No.6-2 工場，建設作業，道路交通，新幹線鉄道の振動に係る基準の根拠等について
 - No.6-3 DIN 4150-2（抜粋）
 - No.6-4 BS 6471-1（抜粋）
 - No.6-5 Predicting the feeling of vibration in buildings
 - No.6-6 NS 8176.E（抜粋）

E. 議事内容

O. 議事メモ確認

- ・事前メール配信で確認

1. 評価指針の内容について

- ・資料 No.6-1 を基に意見交換。内容の概要は以下のとおり。

1-1. 評価指針で提示するもの

- ・知覚のみでなく他の指標も必要
- ・設計に直接用いる指標は設計指針で提示
- ・設計指針とのすみ分けは今後の議論で
 - －「性能ランク」は評価か設計か，など

1-2. 評価方法

- ・入力－反応関係が明確になっている評価量を
- ・振動源ごとの方法の提示は可能か
- ・木造建築物に対する評価は他と異なるのでは
- ・音，視覚などとの複合影響，加振源の複合，の評価は含めるか

1-3. 今後の進め方

- ・文献レビューによる知見の整理と情報共有が必要
 - －まずは文献を束ねた資料集を共有。それに基づき評価指針を検討。

2. 次回までの作業

- ・建築物の振動評価に関する研究論文，報告の収集
 - －分担して論文，報告の収集
 - －担当者は担当分のすべての論文，報告本文の PDF を主査に送付（期限：9 月 20 日）
 - －全文献を主査が集約し，全委員に配信
 - －各委員は配信された文献の内容を確認
- ・作業分担

- －初版指針準備時の文献
- －「現状と規準」以降の学会論文集，大会梗概集
- －歩行振動
- －企業の技術報告
- －海外

3. 次回開催予定

次回WGは，2011年10月18日（火）17時00分から本会会議室で開催予定